



各位

湖北工業株式会社
滋賀県長浜市高月町高月 1623 番地
(コード番号：6524 (東証スタンダード))

宇宙通信分野向け光システム開発に向けて、 湖北工業とワープスペース社が、資本・業務提携

湖北工業株式会社（本社：滋賀県長浜市、代表取締役社長：石井太）はこのほど、ワープスペース社(茨城県つくば市、代表者 CEO：東 宏充)と、宇宙通信向け光部品、光デバイス、モジュール、装置及びシステム等の研究開発その他に関する業務提携及び湖北工業株式会社がワープスペース社に対して約 3 億円の出資（出資比率 8.9%）を行うことについて合意しましたのでお知らせいたします。

ワープスペース社は、低軌道商用地球観測衛星向けの衛星間光通信ネットワークサービスを手掛けるベンチャー企業で、災害対策等に備えた地球観測のみならず、農林水産業、環境影響を考慮した交通/物流システムを始めとする公共インフラの構築や都市計画など、幅広い領域で期待が高まる衛星通信技術の実用化に取り組んでおり、リアルタイムに即応大容量通信が可能となる世界初のネットワーク「WarpHub InterSat(ワープハブインターサット)」など、今後大きく市場の拡大が期待できる衛星通信ネットワークシステム、特に通信プロトコルの異なる低軌道・中軌道の宇宙通信端末を相互に接続する技術に強みを持っています。

一方湖北工業グループにおいては、海底ケーブル用光アイソレータ、光フィルタ等の市場で高い市場シェアを有しており、海底ケーブル用光アイソレータ以外にも、光サーキュレータ、などの光デバイス、結晶素子であるファラデー回転子や、高純度石英ガラス部品、また石英ガラスのキャピラリーなどを用いたファイバ/ファイバアレイ加工品など、様々な光部品・デバイスの開発・製造・販売を行っています。

特に、海底ケーブルにおいては、最大水深 8,000 メートルの環境下で 25 年間メンテナンスフリーを要求されるなど過酷な環境下での安定動作が求められており、その高信頼性デバイスは高い評価を受けています。

また、湖北工業グループが保有する光部品・デバイスの材料技術（結晶育成技術）や精密組み立て技術とのシナジー効果を生むため、PLZT 薄膜技術を有するエピフォトニクス社の買収や、高出力のレーザーシステム技術を持つ Ariel 社の技術導入を進めるなど、次世代情報通信インフラに向けた製品ラインアップの強化と販売ネットワークの拡充を進め、大容量化が進む光情報通信関連市場でのシェア拡大を目指しています。

今回の宇宙通信分野向け光デバイス・システム開発に関する提携により、湖北工業では、放射線や激しい温度変化や熱真空などの過酷な使用条件に晒される宇宙空間での製品開発と、関係機関における認証手続きを進め、海底ケーブル用で実績を持つ高信頼性光パッシブデバイスの衛星通信への応用展開を加速していきます。

また、ワースペース社の宇宙通信分野向け製品開発に連動して次世代衛星通信市場向けの製品ラインアップを強化、さらに、エピフォトニクス社や Ariel 社の技術とのシナジーを活用しながら高速応答性が求められる光スイッチ、衛星間及び地上局衛星間のレーザー通信モジュールを始めとするサブシステムの開発などを進め、衛星通信分野に求められる高品質のソリューション提供を目指していきます。

以 上

<湖北工業株式会社の概要>

湖北工業株式会社は、1959年にアルミ電解コンデンサのリード端子製造メーカーとして創業、その後2000年に光部品・デバイス事業に進出しました。現在では売上のうちリード端子事業が55%、光部品・デバイス事業が45%の構成となっています。光部品・デバイス事業において、水深8,000メートルで25年間メンテナンスフリーで稼働する海底ケーブル向け光アイソレータ市場で市場シェア50%以上を有し、この分野におけるリーディングカンパニーとなっています。

<ワースペース社の概要>

| 項目 | 内容 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称 | 株式会社 ワースペース |
| 所在地 | 茨城県つくば市吾妻 1-10-1 つくばセンタービル 1F |
| 代表者の氏名・ 役職 | 代表取締役 CEO 東 宏充 |
| 事業内容 | 宇宙通信モジュール製造販売及び光通信インテグレーションサービス |
| 資本金 | 334,989,225 円 |
| 沿革 | 2016年 筑波大学航空宇宙工学研究の第一人者である亀田敏弘筑波大学システム情報系教授が創業 2022年 月と地球を結ぶ光通信システムの実用化に向けた検討業務をJAXA から受託 2022年 WarpHub InterSat 初号機「霊峰（LEIHO）」発表 2023年 初号機の 基本設計審査（PDR）を完了 |
| 主要技術 | <ul style="list-style-type: none"> ・異なる通信規格を持つ光通信端末を相互接続するための光翻訳機（HOCSAI）の開発 ・光通信に特化した衛星コンステレーションのデジタルツインエミュレータ（DTS）の開発 ・中軌道光中継システムの開発 |

<本件に関する問い合わせ先>

〒529-0241 滋賀県長浜市高月町高月 1623 番地

湖北工業株式会社 広報 IR 室

(TEL: 0749-85-3211、E-Mail : ir@kohokukogyo.co.jp)

以上